

明和町に吹く風

明和町に吹く風

明和町の気候の特徴に風の強さがあります。明和町とその周辺には平野が広がっており、風をさえぎるものがないため一年を通して風が吹いています。冬には風速 10 m を超える風が吹く日もあり、斎宮ではこの風を「斎宮の寒風」と呼んでいました。

風の利用

この風は明和町の産業を支えていました。斎宮では漬物用の大根づくりが盛んに行われており、収穫された御圃大根を畑に組まれたはざかけと呼ばれる柵にかけて風にさらして干していました。

天気を知る術

かつては現代のような天気予報はありませんでした。そのような時代では風などをみて天気の様子を知る知恵がありました。

「あさにし、ひるこち、ゆうみなみ」

夏の暑い日に朝は西から、昼は東から、夕方には南から風が吹くと天気が固まると言われていました。



収穫された御圃大根



斎宮のはざかけ

キーワード：斎宮の寒風、御圃大根、はざかけ